

台東区在宅療養支援窓口通信

平成30年9月号 No. 1

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



大学病院患者支援センター
看護師

ホスピスへ転院予定の患者さんが、急遽自宅退院となり退院後の生活が心配。

(大学病院から、自宅に戻った後に介入してもらった訪問診療医と訪問看護は紹介済み。)

<支援内容>

患者：独居、介護保険未申請。

訪問診療医と連携し、病状的に福祉用具や他の介護サービスについて、本人の意向を確認することが必要と判断した。退院当日、地域包括支援センター職員と自宅訪問し、本人・知人と面談をした結果、知人により新規介護保険申請手続きをし、本人によりケアマネジャーを選定。暫定ケアプランにて福祉用具貸与、訪問介護のサービスを開始した。

<対応結果、相談者の反応>

退院当日の午前に大学病院から連絡・相談があり即日、医療・介護が連携し対応したことで、スムーズな調整ができた。本人・知人は安心した様子で、大学病院からは、迅速な対応に感謝の言葉が聴かれた。

ケースを振り返って

このケースは、急な退院、介護保険未申請、病状の悪化が予測されるなか、ケアマネジャーを中心に在宅チームが一丸となり支援したことで本人が望んでいた帰郷が叶ったケースであった。

利用者の意向や生活状況を知るためには、現場へ出向くことが大切であり、本人らしい生活獲得のためには、その時々状況判断が求められる。

マネジメントによって支援が遅れたりすることも考えられるため、今回のケースを通じて、改めて地域の関係機関との連携、顔の見える関係作りはとても重要であると感じた。



○普及啓発活動

在宅療養支援窓口では、在宅療養や高齢者の医療サービスなどをテーマに講演を行っています。ご興味がある方は、下記連絡先へお問い合わせください。

在宅療養支援窓口では、在宅療養生活における医療面に関する様々な相談をお受けしています。

ケアマネジャーに対して、医療的課題に関するマネジメントや医療関係者との連携についてのサポートも行っておりますので、是非窓口へご相談ください!



台東区在宅療養支援窓口 電話：5603-0235

受付時間：月～金曜 9時～17時、土曜 9時～12時